

## 調査位置案内図

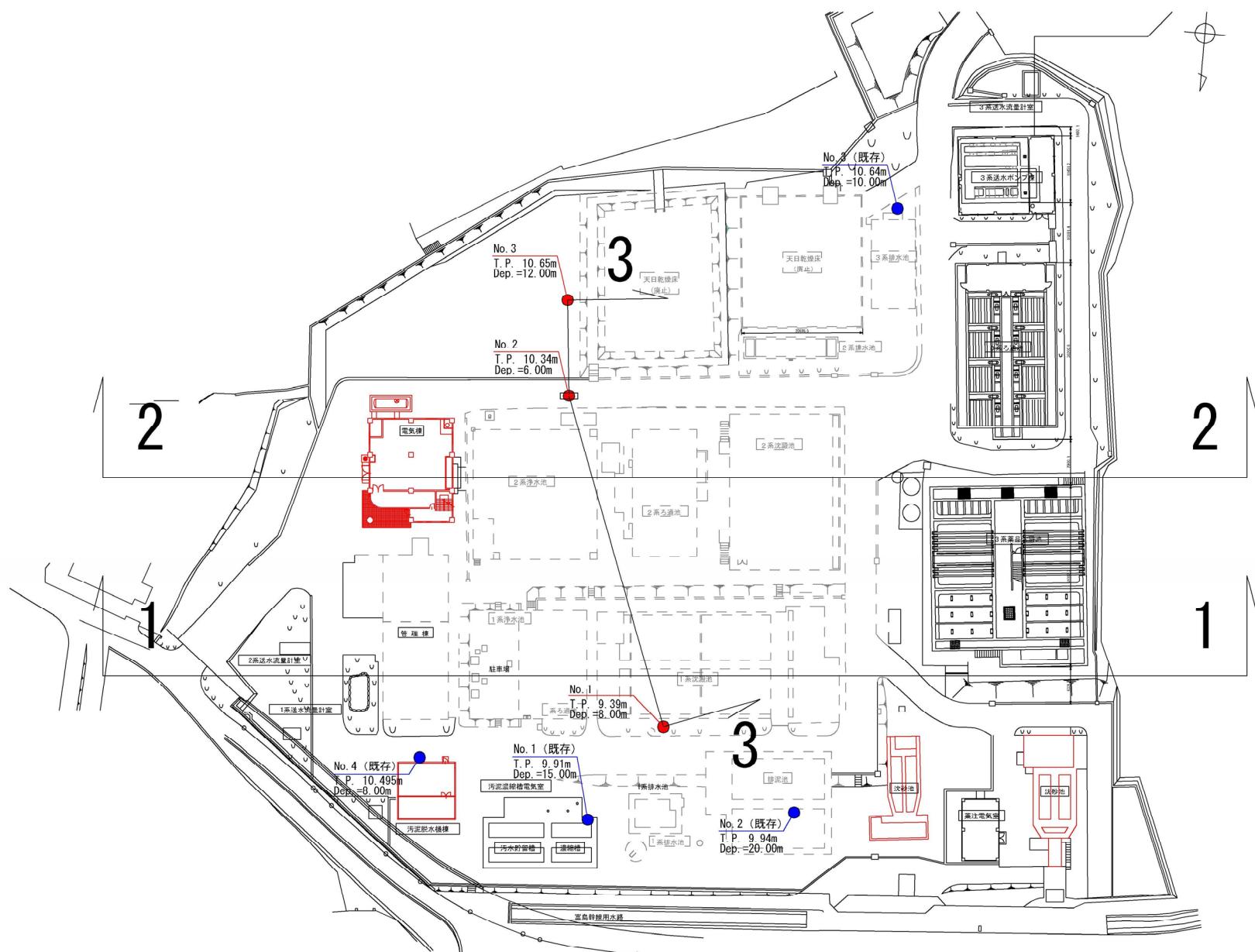
○：調査位置



※地理院タイル（国土地理院）を利用して作成

縮尺:1/25,000

## 調査位置平面図 (A3=1:1000)



## 凡例

No. 1  
T. P. 9.39m  
Dep. = 8.00m

No. 1 (既存)  
T. P. 9.91m  
Dep. = 15.00m : 既存ボーリング位置

### ：断面図線

## 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和6年度日向市権現原浄水場更新事業に係る事業者選定支援業務委託

事業名または工事名 令和6年度日向市権現原浄水場更新事業に係る事業者選定支援業務委託

## 調査目的及び調査対象 上水道 構造物基礎

ボーリング名	No.1	調査位置	宮崎県日向市権現原地先					北緯	32° 24' 33.5"		
発注機関	日向市上下水道局					調査期間	令和07年05月13日～令和07年05月14日		東経	131° 36' 14.8"	
調査業者名	株式会社日水コン			電話(092-282-1355)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		
孔口標高	T.P. 9.39 m	角度	180° 上 90° 0° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦D0	
総削孔長	8.00 m							エンジン	東邦BG-3	ポンプ	NFD-10

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 ( 模 様 )	現 場 土 質 名	地盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 / 測 定 年 月 日	標 準 貫 入 試 験		原 位 置 試 験		試 料 採 取		室 内 試 驗 日	削 孔 月				
										N	度	100mmご との打撃回数	50回 ごとの貫 入量	深 度	試 験 及 び 結果	深 度	試 料 番 号	採 取 方 法			
1	7.79	1.60	盛土 (礫 混じり粘 土質砂)		褐	rd1		0.00~0.20m、アスファルト と碎石、細砂主体。 φ2~50mmの亜角礫が混入する。 粘性度は大きい。 含水量は中位。		1.0	1.15	1	1								
2	6.69	2.70	盛土 (シ ルト質粘 土)		褐	rcl		粘性度は大きい。 含水量は中位。	5/16 2.93 ▼	1.0	1.45	300	1	300							
3			盛土 (礫 混じり粘 土質砂)					φ2~60mmの亜角礫が混入する。 一部の礫は乳白色を呈する石英や長石が混入し、石英斑岩由来。 粘性度は中位。 含水量は中位。 木片が混入する。		3.0	2.15	1	1	300							
4										4.0	2.45	300	1	300							
5										7.0	3.15	1	1	1	3						
6	2.99	6.40	盛土 (礫 混じり粘 土質砂)			暗 灰	rd2				3.45	1	1	300							
7			石英斑岩			乳 灰		短柱~棒状コア主体。 6.40~7.00m、亀裂が発達する。 7.00m以深、棒状コア。 亀裂面に沿って、微かに風化する。 ハンマー打撃で純音。		62.1	4.15	1	1	2	4						5/13
8	1.39	8.00								187.5	4.45	1	2	4	7						
9										375.0	5.15	1	2	4	7						
											5.45	5	11	44	60						
											6.15	6.44	5	90	290						
											7.15	7.15	50	50	80	80					
											7.23	7.23	80	80							
											8.15	8.15	50	50	40	40					
											8.19	8.19	40	40							

# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 令和6年度日向市権現原浄水場更新事業に係る事業者選定支援業務委託

事業名または工事名 令和6年度日向市権現原浄水場更新事業に係る事業者選定支援業務委託

調査目的及び調査対象 上水道 構造物基礎

ボーリング名	No. 2	調査位置	宮崎県日向市権現原地先	北緯	32° 24' 31.7"
発注機関	日向市上下水道局	調査期間	令和07年06月17日～令和07年06月20日	東経	131° 36' 15.7"
調査業者名	株式会社日水コン 電話(092-282-1355)	主任技師	■■■■■	現場代理人	■■■■■
孔口標高	T.P. 10.34 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0° 位 270° 180° 西 南	方	北 0° 西 90° 東 90° 南 0°
総削孔長	6.00 m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機 東邦D0 エンジン 東邦BG-3 ポンプ NFD-10

標尺 高 度 (m)	標 深 度 (m)	現 場 土 質 名 ( 模 様 )	現 場 土 質 名	地盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 對 密 度	相 對 稠 度	記 事	孔 内 水 位 測 定 年 月 日	標 準 貫 入 試 験			原 位 置 試 験			試 料 採 取			室 内 試 驗 日	削 孔 月 日			
									N 値			N 度	深 度 (m)	100mmご との打撃回数 0 100 200 ゞゞゞ			打 撃 ご との 貫 入 量 0 100 200 300 ゞゞゞ	自 沈 時 の 貫 入 量 0 100 200 300 ゞゞゞ	深 度 (m)	試 験 名 及 び 結 果		
									標 準 貫 入 試 験 値	100 mm の 打 撃 回 数	打 撃 ご との 貫 入 量			打 撃 ご との 貫 入 量 0 100 200 300 ゞゞゞ								
1								6/18 0.90				2.7	1.15									
2	7.84	2.50	盛土(礫 質砂)	褐	rd1		0.00～0.20m、アスファルト と砕石。 試掘調査、埋戻しが行われて いる。 砂は粒径不均一。 φ2～40mmの亜角礫・角礫混 入。					2.7	2.15	2	2	1	5					
3	7.54	2.80	盛土(砂 礫)	褐			φ2～30mmの亜角礫主体。 マトリックスは粗砂。 砂の粒径不均一。 粘性土は小さい。 φ2～15mmの亜角礫混入。					4.8	2.70	350			550					
4	6.54	3.80	盛土(礫 質砂)	黄褐	rd3							22.2	3.15	3	3	2	8					
5	6.34	4.00	盛土(玉 石混り砂 礫)	灰			φ2～30mmの亜角礫主体。 マトリックスは粗砂。 砂の粒径不均一。 粘性土は小さい。 φ2～15mmの亜角礫混入。					4.15	3.65	300			500					
6	4.34	6.00	風化石英 斑岩	乳灰 暗 綠 灰			コア長12cmの玉石混入。 岩片状～短柱状コア主体。 全体的に風化激しく、亀裂に 沿って砂礫状となる。 岩組織は明瞭。 4.00～5.00m、乳灰色で亀裂 多く、亀裂沿い褐色化。 5.00m以深は暗緑色を呈 す。					4.25	4.15	50			100					
7												5.00	5.10	50			100					
												6.00	6.10	50			100					
																		6/18	6/19			

## 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和6年度日向市権現原浄水場更新事業に係る事業者選定支援業務委託

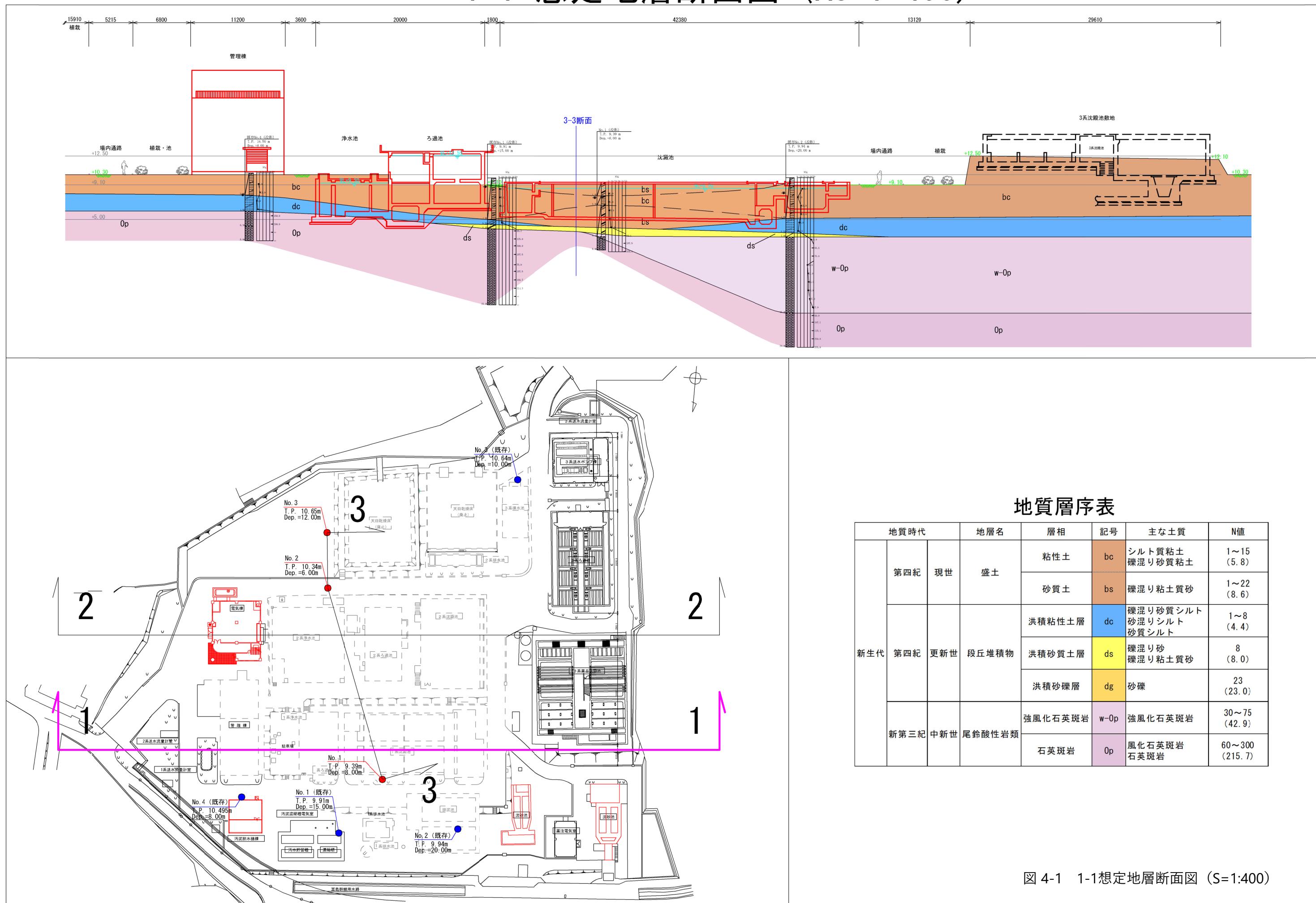
事業名または工事名 令和6年度日向市権現原浄水場更新事業に係る事業者選定支援業務委託

## 調査目的及び調査対象 上水道 構造物基礎

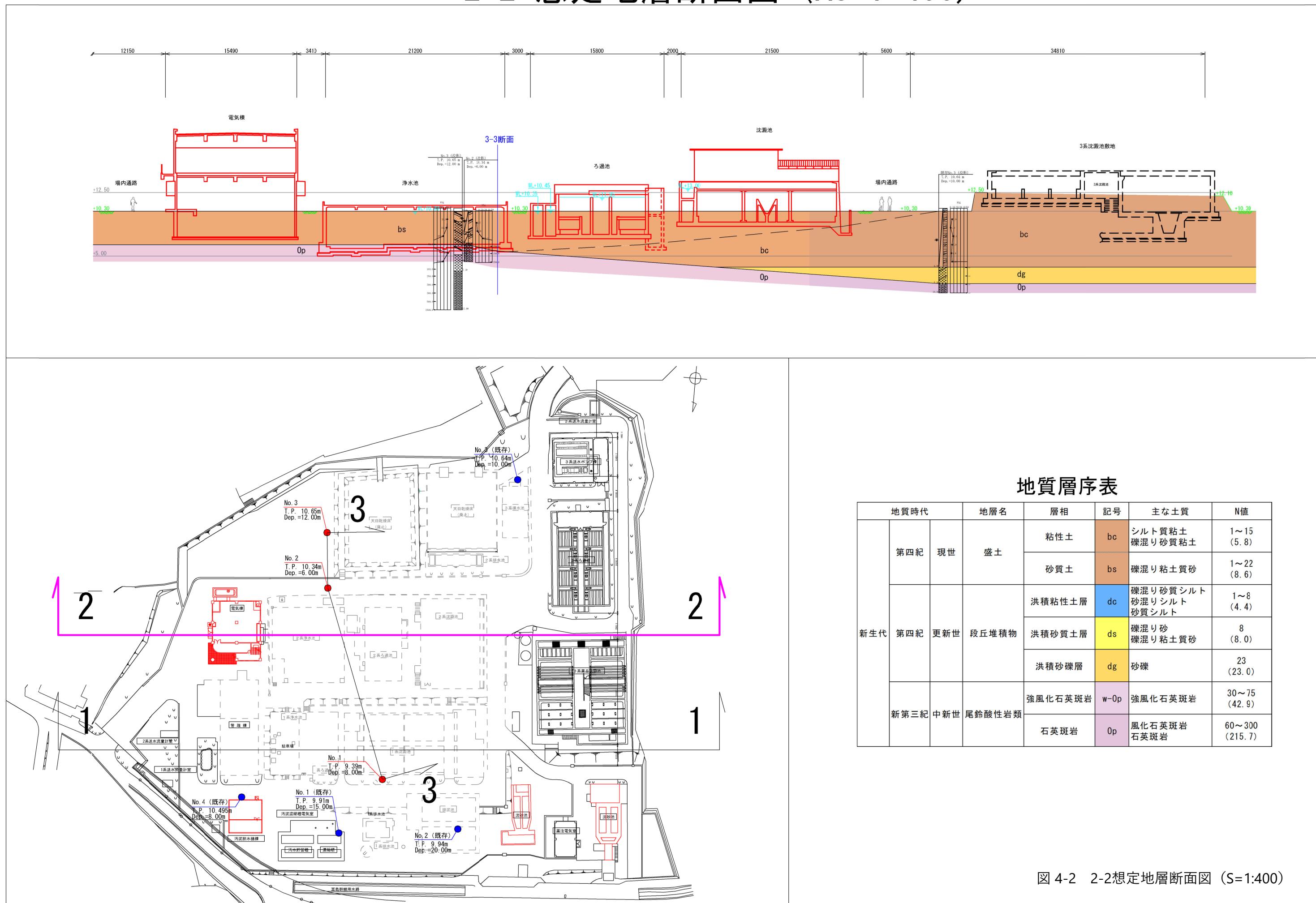
ボーリング名	No.3	調査位置	宮崎県日向市権現原地先					北緯	32° 24' 31.3"		
発注機関	日向市上下水道局					調査期間	令和07年05月08日～令和07年05月12日		東経	131° 36' 15.7"	
調査業者名	株式会社日本コン			電話(092-282-1355)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		
孔口標高	T.P. 10.65 m	角度	180° 上 90° 0° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦D0	
総削孔長	12.00 m							エンジン	東邦BG-3	ポンプ	NFD-10

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 ( 模 様 )	現 場 土 質 名 名	地盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 / 測 定 年 月 日	標 準 N 値		貫 入 試 験				原 位 置 試 験		試 料 採 取		室 内 試 験 内 孔 月 日		
										N	深 度 (m)	100mmご との打撃回数	打 撃 ご との貫 入 量	50 回 の貫 入 量	自 沈 時 の貫 入 量	深 度 (m)	試 験 及 び 結果 名 果	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法		
1 9.05	1.60		盛土 (砾 混 り シル ト質砂)	盛土 (砾 混 り シル ト質砂)	褐	rd3		0.00~0.20m、アスファルト と碎石。 φ2~20mmの亜角礫が混入。 粘性度は小さい。 含水量は中位。	5/12 1.53	10.0	1.15	3	3	4	10							5/8
2								砂の粒径は不均一。 一部固結した砂で採取。 φ2~30mmの亜角礫が混入する。 コア長15~20cmの玉石点在する。 含水量は中位。		11.0	1.45 2.15	3	4	4	11							5/9
3								砂の粒径は不均一。 粘性度は中位。 含水量は中位。		22.0	2.45 3.15	6	8	8	22							5/12
4 6.15	4.50		シルト質 砂	シルト質 砂	褐	rd2		φ2~70mmの亜角礫が混入する。 一部、石英斑岩の風化岩片が 混入。 マトリクスは粗砂。		78.3	3.45 4.15	4	9	47	60							
5 5.15	5.50									8.0	4.38 5.15	3	2	3	8							
6										23.0	5.45 6.15	4	5	14	23							
7 3.25	7.40		砂 礫	砂 礫	暗 灰					163.6	6.45 7.15	48	12		60							
8										250.0	7.26	10			110							
9										300.0	8.00	50			50							
10										300.0	8.06	60			60							
11										300.0	9.00	50			50							
12 -1.35	12.00		石英斑岩	石英斑岩	乳 灰			短柱状~棒状コア主体。 亀裂はあるが、亀裂に沿う風化なし。 ハンマー打撃で割れる程度。		500.0	9.05	50			50							
13										1500.0	10.00 10.05	50			50							

# 1-1 想定地層断面図 (A3=1:400)



## 2-2 想定地層断面図 (A3=1:400)



調査位置平面図 (A3=1:1000)

### 3-3 想定地層断面図 (A3=1:250)

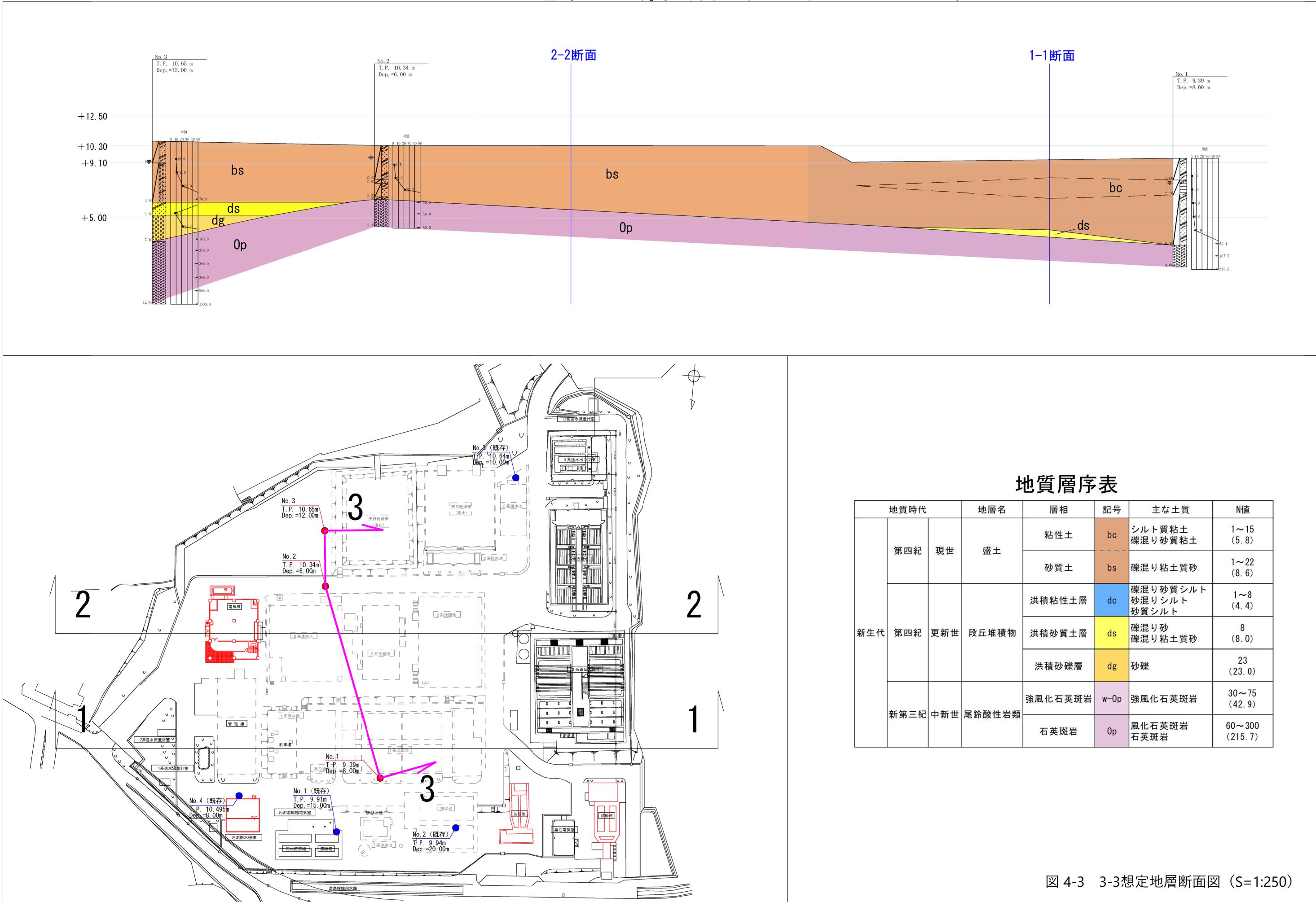
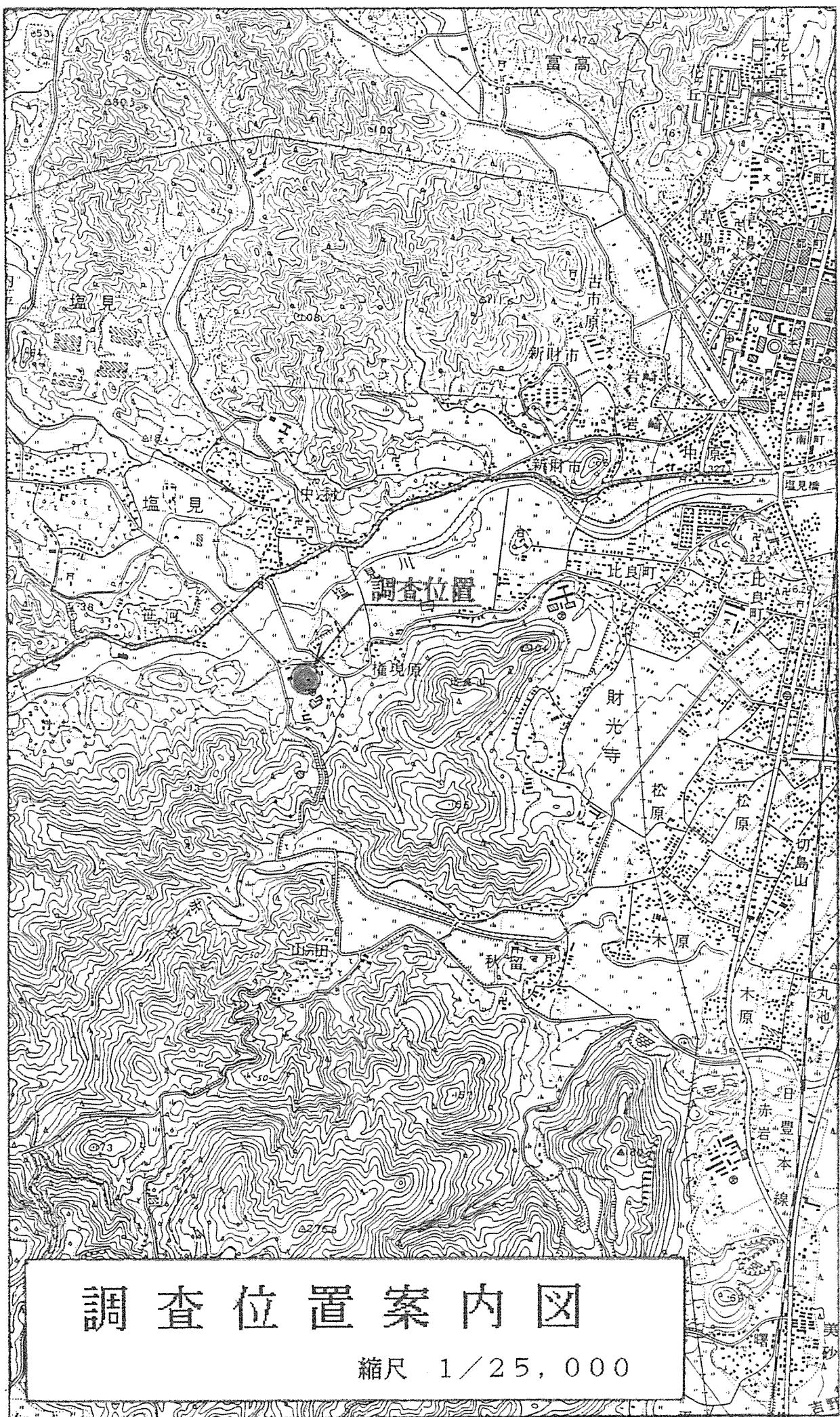


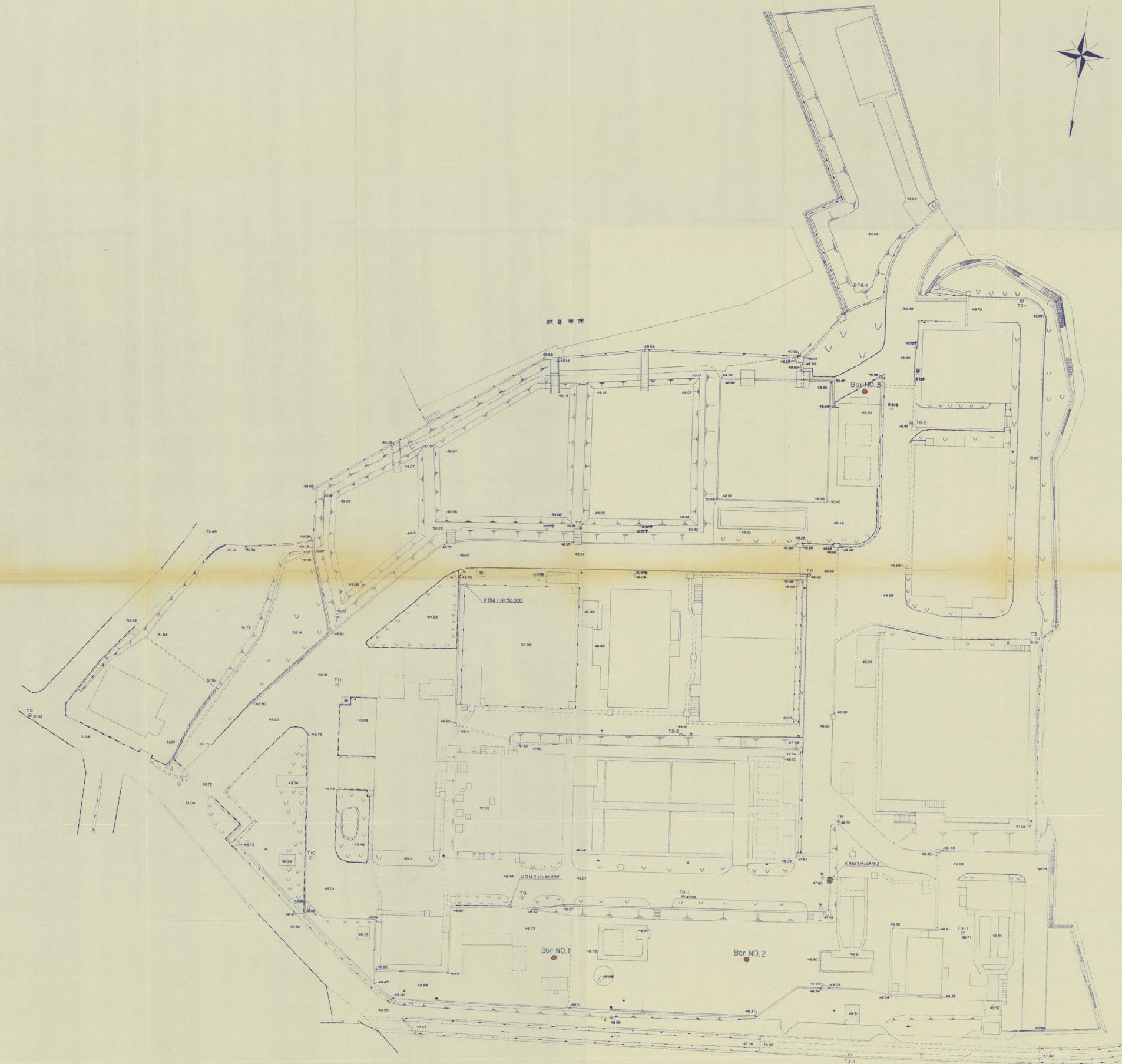
図 4-3 3-3想定地層断面図 (S=1:250)

事業調查擴張第6次場地現原淨水道市向日權

報告書



調査位置平面図 S=1:300



凡例

- ポーリング位置
- KBM位置

柱状 - B A S E

## 第 図 土質柱状図

調査名 権現原浄水場地質調査 ボーリング方法 ロータリー 式  
 調査位置 宮崎県日向市権現原  
 地点番号 No. 1 標高 48.61 m 調査年月日 1年11月24日～11月25日  
 孔内水位 GL-1.05 m 担当者名 岩永秋生

備考

標 尺 高 (m)	標 度 (m)	深 層 (m)	土 質 記 号	試 料 採 取	土 質 名	色 調	記 事	標 準 質 入 試 験					
								深度 (m)	N 値 回	10 cm 打撃 回数 10 cm	10 cm 打撃 回数 20 cm	10 cm 打撃 回数 30 cm	(N 値) 10 20 30 40 50
1								1.15	3	1	1	1	
2								1.45	30	15	10	5	
3								2.15	3	1	1	1	
4								2.45	30	18	7	5	
5	43.71	4.90	4.90		盛土	暗褐～黒褐		3.15	4	1	1	2	
	43.11	5.50	0.60		礁混じり砂質シルト	暗茶灰	若干砂分優勢。 腐植草根を少量混入する。	5.15	8	2	3	3	
6	42.61	6.00	0.50		シルト質砂	淡綠灰	腐植草根を少量混入する。	5.45	30	10	10	10	
7							固結土化され、非常に密な締りを呈する。 くされ礁混入の洪積層	6.15	50	12	23	15	
8								6.38	23	10	10	3	
9								7.15	50	42	8		
10								7.27	12	10	2		
11							7.00m付近まで岩組織を残すが風化進み褐色化。	8.00	50	50			
12							以深、粘土化部分を多く含む礁～砂礁状であるが、非常に密な状態にある。	8.05	5	5			
13							軟岩である。 所々、風化変質作用の脈となるパイライト、及び青灰色の粘土脈を挟む。	9.00	50	50			
14							全体としては殆ど均質である。	9.08	8	8			
15	33.61	15.00	9.00		風化石英斑岩	淡青灰～乳灰		10.15	50/20	23/10	27/10		
16													
17													
18													
19													
20													
21													

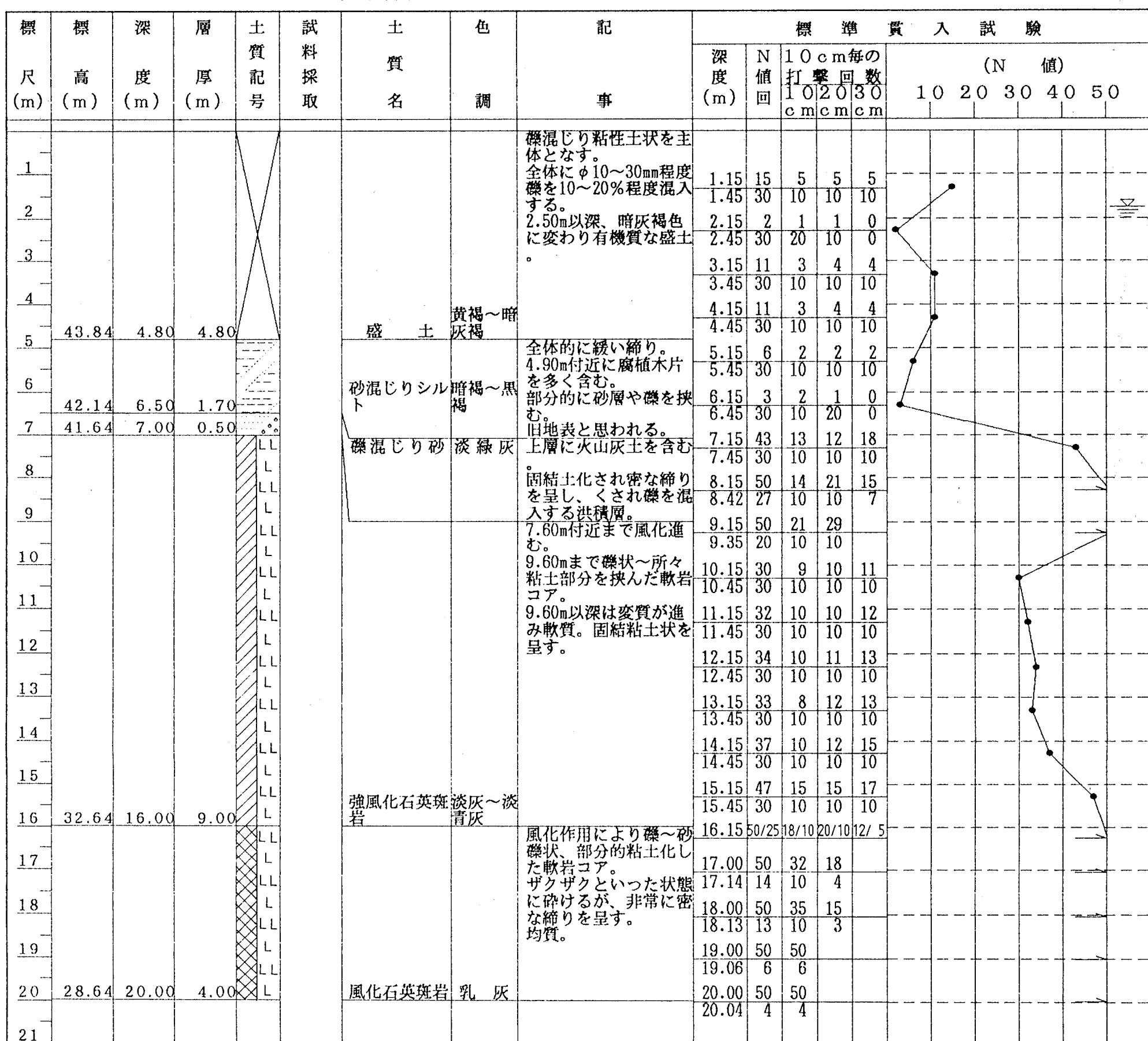
(株) 日水コン

柱状 - BASE

第 図 土質柱状図

備考

調査名 権現原浄水場地質調査 ポーリング方法 ロータリー 式  
 調査位置 宮崎県日向市権現原  
 地点番号 No. 2 標高 48.64 m 調査年月日 1年11月24日～11月25日<sup>1</sup>  
 孔内水位 GL-1.80 m 担当者名 岩永秋生



### 柱状 - B A S E

### 第 図 土質柱状図

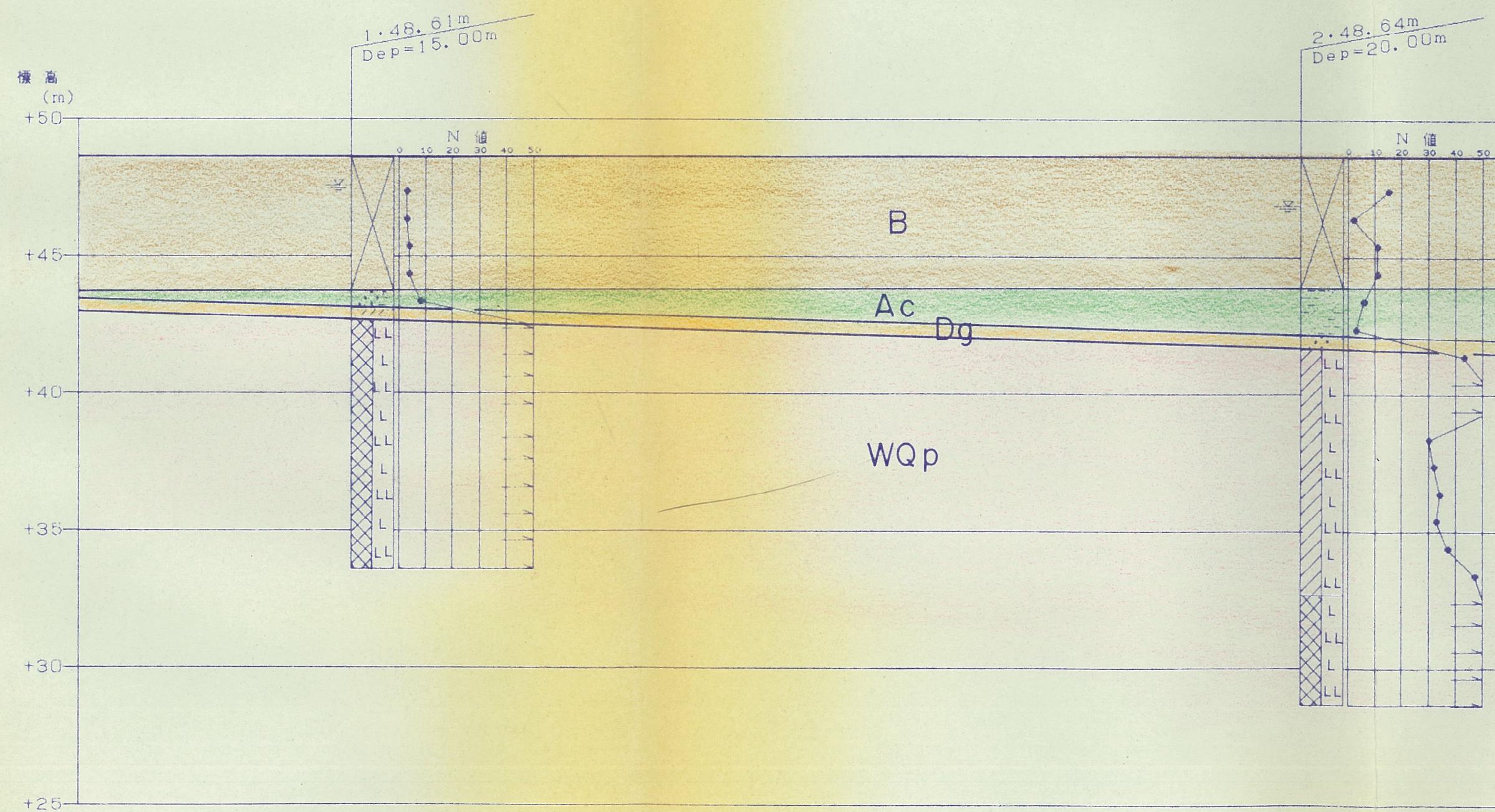
備考

調査名	権現原浄水場地質調査	ボーリング方法	ロータリー	式
調査位置	宮崎県日向市権現原			
地点番号No.	3	標高	49.34 m	調査年月日
		孔内水位	GL-3.75 m	担当者名

(第 4 図)

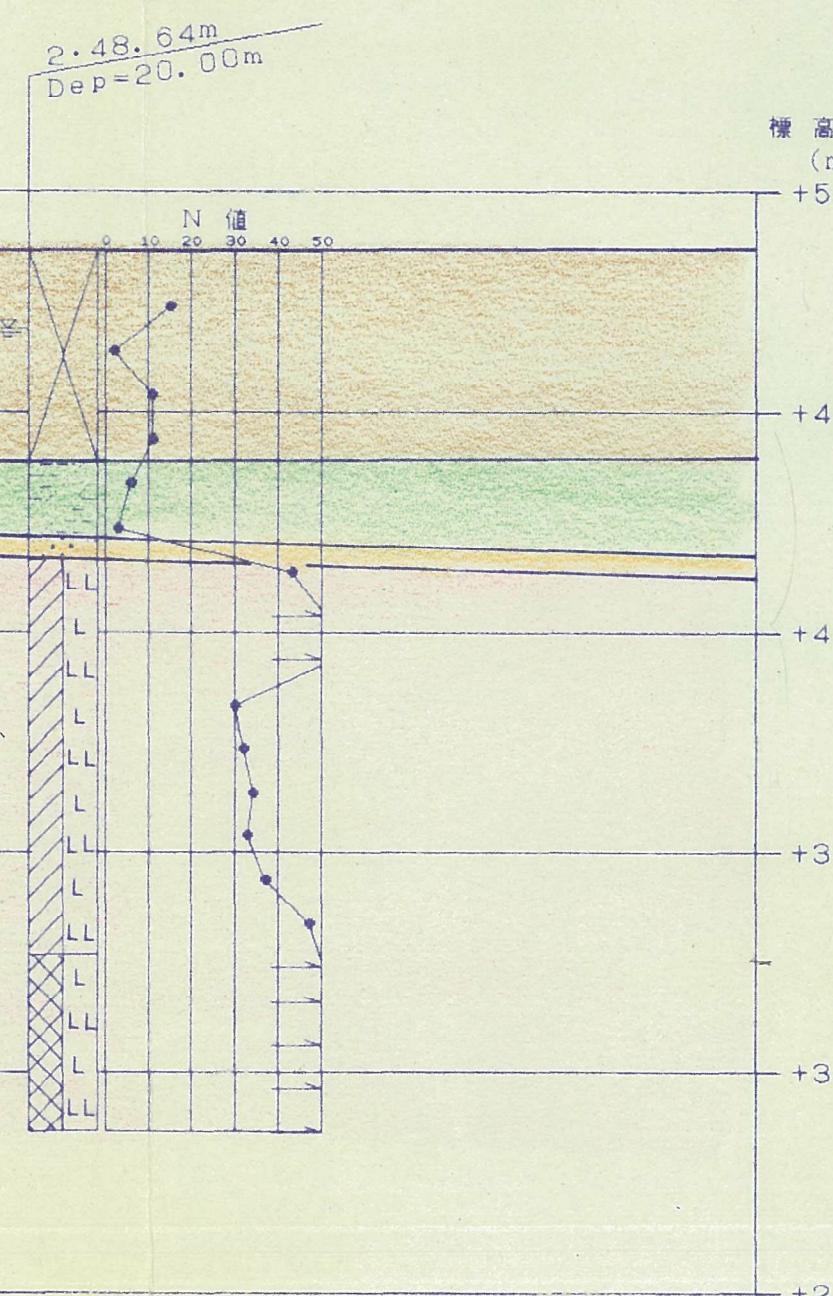
# 地盤想定断面図

縮尺：縱1/200橫1/200



面 図

縮尺：縱1/200橫1/200



## 凡 例

地時	質代	地層名	記号	色調	層厚(m)	N値(目)	層相
新 四 紀	完 新 世	盛 土	B	黄 褐   暗灰褐   黑 褐	4.80   6.95	1   15	軟質の礫混じり粘性土を主体とし、全体的に弛い締まりを呈す。No.1～2の2.5m以深は優黒色の有機質土が混入する。
	腐植物 混り土	Ac		暗 褐   黑 褐	0.85   1.80	3   8	暗灰の砂質粘性土で弛い締まりを呈する。腐植物の混入が多く見られる。 旧表層土である。
	洪 新 世	洪積土	D <sub>s</sub>	淡緑灰	0.50   1.95	50 以上	No.1～2はくされ礫を混入した固結土で、層厚は0.5～0.6m。 No.3はφ10cm以下程度の硬礫を多量混入する。
新 代 第 三 紀	中 新 世	風化石 英斑岩	WQ <sub>P</sub>	淡 灰   淡青灰   乳 灰	No.1～ No.2 9.0～ No.3 0	30   50 以上	変質および風化で軟質化。土砂～砂礫状コア一となるが、地山に於いては軟岩～固結土。 No.2の9.6m以下は変質粘土化が進んでおりN=30～47と軟質。
	石 斑 英 岩	Q <sub>P</sub>		乳 灰	1.10 	50 以上	変質された石英斑岩で亀裂多く、土砂部を挟む。No.2は軟岩状。 No.3は9.3m以下硬質短棒状コアーを呈する。